

## ○今月の病害虫発生状況○

- ・炭疽病の発生はやや少なく、うどんこ病の発生は少ないです。
- ・アブラムシ類の発生はやや少なく、ハダニ類の発生は平年並みです。

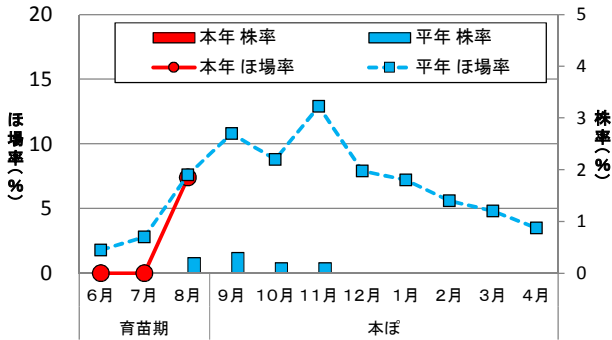


図1 炭疽病発生ほ場率・株率

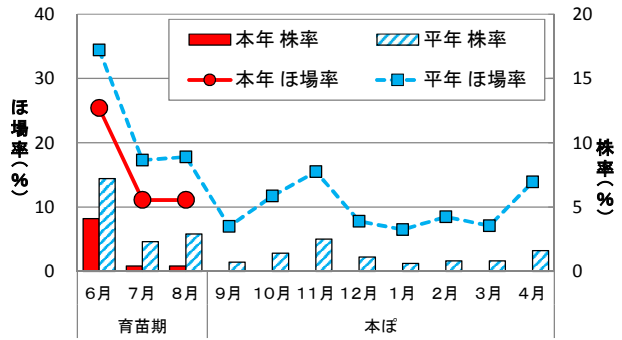


図2 アブラムシ類発生ほ場率・株率

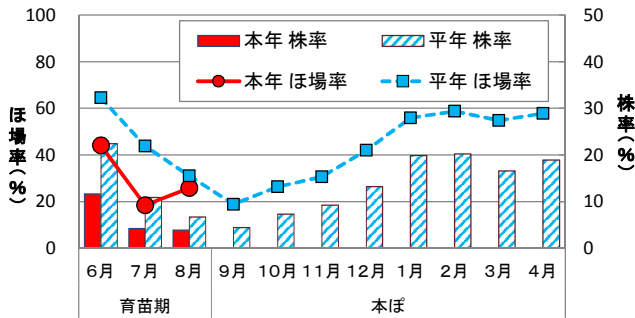


図3 ハダニ類発生ほ場率・株率

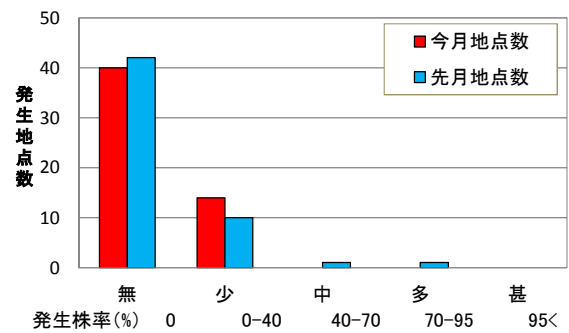


図4 ハダニ発生程度別の地点数

## ○今月の技術情報 (技術指導班) ○ (8月)

・病害虫の発生は全体的に少ないですが、ハダニ類、アブラムシ類、炭疽病等の発生が見られます。特に、炭疽病については、梅雨明け後の高温多湿となった8月初旬から県内全域で発生が確認されましたので、引き続き早期発見・早期防除を心がけ、罹病株を定植ほ場に持ち込まないように、育苗床でしっかりと防除しましょう。

・向こう1か月の天候の見通しは、今後も気温は高い見込となっています。苗質の充実を図るため、採光性・通風性を優先するとともに、適正なかん水・施肥管理を心がけましょう。

・仮植後の日照不足の影響で発根不良や軟弱徒長等による苗質不良がみられます。「とちおとめ」では、不時出蕾による心止まり株も見られます。定植前に発根状況や葉の展開状況を確認するとともに、花芽の分化状況を必ず確認し、苗質の良いものを適期に定植できるよう心がけてください。



写真1 葉柄の炭疽病の病斑



写真2 ナミハダニ雌成虫(左)と幼虫(右)